第6号様式（第5の2関係）

議 事 概 要

会 議 名	令和6年度第3回志布志警察署協議会
会 議 日 時	令和7年2月14日（木）午後1時30分～午後3時30分
会 議 場 所	志布志警察署会議室
出 席 者	1 協議会 会長以下 8人 2 署 署長以下 9人
<p>（会議の概要）</p> <p>1 会次第</p> <p>(1) 開会のことば</p> <p>(2) 会長挨拶</p> <p>(3) 署長挨拶</p> <p>(4) 協議会協議</p> <p>ア 管内の治安情勢等について</p> <p>イ 警察に対する意見・要望について</p> <p>ウ 署業務運営の諮問と委員の答申</p> <p>エ 交通・速度取締の指針について</p> <p>オ 次回の協議会日程</p> <p>(5) 鑑識活動の見学及び体験</p> <p>(6) 閉会のことば</p> <p>2 委員からの意見・要望に対する警察からの説明</p> <p>(1) 高速道路上の逆走事案について（第2回署協議会における意見）</p> <p>【委員】</p> <p>高齢者の逆走事案防止で、都城志布志道路の志布志インターの出口及び入口に高齢者向けのわかりやすい大きな看板を設置してはどうか。</p> <p>【交通課長】</p> <p>都城志布志道路を管理する大隅地域振興局に、「どのような看板設置が効果的か。」について検討を依頼した結果、道路の形状、ガードレールの強度等の状況から、大型矢印看板8枚を設置することにし、「令和7年2月末までに工事を完了する予定である。」との回答を得た。</p> <p>警察としては引き続き、パトロール、交通安全講話等を通じての広報に努め、あわせて、道路管理者との連携を強化する。</p> <p>(2) 志布志警察署の移転建替について</p> <p>【委員】</p> <p>「南海トラフ地震の発生確率が高まっている。」といわれているが、志布志警察署は建物の老朽化や立地条件等から相当の被害が出ると思われる。</p> <p>移転建替計画等は検討されているのか。</p> <p>【警務課長】</p> <p>志布志警察署の現庁舎は、平成3年3月に竣工し、同年3月30日から現庁舎で業務を開始しており、現在築年数は33年となっている。</p> <p>現庁舎は、新耐震基準で建設され、目標使用年数も60年となっており、今のところ、建て替え計画はない。</p> <p>建築基準法では、「震度5程度の中規模地震では軽微な損傷、震度6強から震度7程度でも倒壊は免れる。」とされている。</p> <p>志布志警察署は、標高3メートルに位置し、南海トラフ地震が発生した場合、津波の高さは最大6.41メートルが予測されていることから、現在、高架台を建設し、高架台上に非常用発電設備を設置する工事が行われている。</p> <p>浸水被害による庁舎への電源供給が途絶えたときに、警察通信機器の機能を維持するための非常用発電設備移設工事を行い、浸水対策を講じているところである。</p> <p>【委員】</p> <p>なかなか難しいところもあると思うが、やはり警察署というのは、地域の安心安全の要であるので、県内各地の警察署と立地場所等を比較し、より優先度の高いものであれば、建て替え移転を検討してほしい。</p> <p>(3) 香月小学校PTA駐車場の出口について</p> <p>【委員】</p>	

香月小学校のPTA駐車場の出入口で一旦停止するのですが、特に歩道の左側が見えにくいので、ミラーを立ててもらえないだろうか。

警察署から関係機関に働き掛けてほしい。

【交通課長】

香月小学校のPTA駐車場を確認したところ、実際、駐車場から出る際に、歩道の左側が見えにくい状況があった。

ロードミラーを設置する場合、設置場所については、駐車場前の歩道部分になるため、志布志市役所が設置することとなる。

警察で、香月小学校の校長、教頭と面接して

○ 保護者にPTA駐車場を出る際には、左側に特に注意をすること。

○ 香月小学校として志布志市役所総務課にロードミラー設置の要望を検討してみることに。

を申し入れたところ、校長先生から「香月小学校からの申入れを検討したい。」と回答をいただいた。

志布志警察署から市役所へ設置要望があったことを伝え、前向きに検討してほしいことをお願いしてある。

警察としては、引き続き児童の安全のために、パトロールや交通立哨、学校との連携に努めてまいりたい。

(4) 免許返納者の年齢層について

【委員】

免許返納者は、どの年代が多いのかを知りたい。

【署長】

令和6年は、鹿児島県下で5,877人が返納されており、志布志署では263人が返納している。

志布志署での数字は現在持ちあわせていないが、鹿児島県内では

- ・ 65歳未満が3パーセント
- ・ 65歳から75歳が24パーセント
- ・ 75歳以上が72パーセント

となっており、65歳以上の返納者が96パーセントと、高齢者の返納が大半を占めている。

(5) 「パトロール」について

【委員】

夕暮れ時のパトロールを、引き続きお願いしたい。

【地域課長】

地域課には私を含めて27人の制服警察官がおり、私以外の地域課員が二つの交番と七つの駐在所でそれぞれ勤務している。

基本的には、この地域課員がパトカーやバイクで管内の警ら活動を実施している。

パトロールの際、事件事故の現場に向かう場合ではなくても、レッドラン走行と言って、赤色灯を点灯して見せる警戒を実施することで、地域の方や走行中の車両に対して緊張感を持っていただき、特に交通事故の抑止活動に努めている。

また、御意見のとおり、夕暮れ時は交通事故の発生が増加する傾向にあり、さらに、児童生徒の下校時間でもあることから、引き続き、突発的な事件事故のない限り、それぞれの地域でパトロールを実施してまいりたい。

(6) 「少年補導」について

【委員】

管内の未成年者に対する補導状況や近年の傾向・課題等について知りたい。

【生活安全刑事課長】

管内の少年補導の状況は、令和6年中は2件で、前年比で23件減少している。

県内の状況は、1112件で前年比で8件減少しており、その内の約86パーセントが喫煙と深夜徘徊となっている。

近年の傾向や課題については、少年に広く普及しているスマートフォン等の利用を背景とした、SNS等の利用に起因するトラブルや性犯罪等の被害が後を絶たず、また、近年では、闇バイトに応募して犯罪に加担させられるケースも発生している。

具体的な例として、ネットトラブルについては、個人情報や画像投稿に関するものや、悪口等を安易に書き込んだり、投稿してトラブルに発展するケースがある。

また、家出した少年がSNS等で知り合った人の家に泊まり、性被害に遭うというケースも発生している。

闇バイトについては、SNS上に仕事内容を明らかにしないまま、著しく高額な報酬の支払いを示唆するなどして、犯罪の実行者を募集する投稿が掲載されており、少年が「簡単に高収入を得られるなら」と安易に応募して、強盗や詐欺といった犯罪に加担してしまうといったケースが発生している。

警察としては、これらの犯罪被害を防止するため、各学校において、非行防止教室等を通じて、インターネットの適切な利用や闇バイトの実態や危険性に関する講話等を実施している。

また、子供たちがインターネットを安全かつ適切に利用するためには、子供たちの年齢等に合わせて、フィルタリング機能の活用や各家庭でのルール作りなどの対策を執ることが大切なので、これらの広報等についても継続して実施していく。

最後に、引き続き児童生徒の安全確保のために、少年ボランティア、地域安全モニ

ター、青色防犯パトロール等の関係機関・団体の方々と連携してパトロールや少年補導活動に努めてまいりたい。

(7) 津波避難所階段下の扉について

【委員】

松下 医院先の津波避難場所の階段ですが、いざ上がろうとしても草が生い茂り上がることができない可能性がある。

【警備課長】

津波避難経路の機能確保についてですが、現場を確認したところ、

○ 志布志市が設置した構造物であること。

○ 扉は開放可能であること。

が判明した。

避難ルートに関わる情報として、志布志市の防災担当に問い合わせたところ

○ 施設管理は、建設課が担当していること。

○ 年3回草払いや枝木の伐採を実施していること。

○ 施設管理の参考として建設課に周知すること。

との回答であった。

その後、現地を確認したところ、雑草等は伐採されており、問題なく通行ができるようになっていた。

3 第2回署協議会で諮問した内容の取組結果について

(1) ナイトスクールの拡大について

【交通課長】

第2回目の警察署協議会において諮問した「ナイトスクールの拡大」を2回実施した。

1回目は志布志市で

○ 令和6年12月6日（金）午後7時10分頃～午後7時30分頃

志布志小学校で開催された令和6年度第2回スクールゾーン委員会の中で、会議参加者に対し実施

した。

会議参加者、志布志小学校の教諭、合計15人の参加をいただき、夜間の照射を行った。

2回目は大崎で

○ 令和7年2月8日（土）午後6時30分～

○ 大崎町持留地区農業構築改善センター

○ 地域住民の方、約20人

の参加をいただき、照射実験を行った。

2回とも「服の色や反射材で、これだけ見え方が違うとは思わなかった。見て実感できた。」と御好評をいただいた。

また、年1回の定期開催である自動車学校を借りてのナイトスクールを

○ 令和6年12月11日（水）午後6時～

○ 参加者 志布志地区交通安全協会有明支部13人

で実施している。

ナイトスクールの拡大に際して、委員から御意見をいただいたところであるが、夜間、ナイトスクールのためだけに人を集めることは難しい面があった。

夜間の会議開催等があれば、主催者に依頼して会議終了後に照射実験を見ていただく方法も有効と感じた。

夜間の交通事故を防ぐためにも、ナイトスクールや各種交通安全講話、パトロール等を通じて、広報啓発活動に努めてまいりたい。

(2) 署員の教養に資する部外講師の紹介について

【警務課長】

第2回目の警察署協議会において、署長から「署員の教養に資する部外講師」の紹介をお願いしたところ、新平会長が署員に対して「企業経営者が求める警察職員像」という内容の職務倫理講話をしてくださった。

署員から

○ 普段聞くことのない民間企業の経営者から見た警察職員について知ることができ、視野が広がった。

○ 自分たちが目指していた警察官像が、市民が求める警察官像であることが分かった。これからも、自分が追い求める理想の警察官になれるように職務に邁進したい。

などの感想があった。

引き続き、署員の教養に役立つ話をしていただける講師を招聘し、署員の職責の自覚と高い職務倫理の醸成に努めてまいりたい。

4 署業務運営の諮問と委員の答申

うそ電話詐欺防止の新たな取組について

(1) 現在の活動状況

ア 全国地域安全運動期間中や祭り等各種イベントの開催時や年金支給日等に、地域安全モニターや少年ボランティア、青色防犯パトロール隊、志布志地区防犯協会等と協力し、商業施設や金融機関等において、チラシや啓発品を配布している。

また、志布志高校及び尚志館高校の生徒に防犯ポスターの作成を依頼し、管内の

施設に配布した。

イ 各地域で実施されているふれあいサロンに参加させていただき、地元の住民に対し、うそ電話詐欺の現状や被害防止対策等について講話を実施し、チラシや啓発品の配布等を実施している。

また、うそ電話詐欺被害防止に関する寸劇も披露している。

ウ 警察官が各家庭を訪問する巡回連絡や交番や駐在所が作成する広報紙等で情報提供をしている。

また、防災行政無線やFMラジオ等を活用した広報も実施している。

エ 警察本部が、県内に居住する高齢者（70歳以上）等に対し、防犯機能を備えた優良防犯電話器の購入費用の一部補助（5,000円）を実施している。

オ 金融機関やコンビニエンスストア等と連携し、うそ電話詐欺の水際対策を強化している。

(2) 令和6年中におけるうそ電話詐欺被害の発生状況

令和6年中のうそ電話詐欺やSNS型投資詐欺・ロマンス詐欺は、各世代で被害が発生している。

被害額は、鹿児島県全体で約20億8,000万円、管内で約2,600万円発生している。

被害者の年代は、うそ電話詐欺では、65歳以上の高齢者が多く、SNS型投資・ロマンス詐欺では、65歳未満の年代が多い傾向にある。

被害の多い送金方法は、うそ電話詐欺は窓口やATM等を利用した振込型が最も多く、次に電子マネー型、レターパック等を利用した送付型の方法が多い。

SNS型投資型・ロマンス詐欺の送金方法では振込型、暗号資産等の利用、電子マネーの順に多い。

(3) 諮問

当署では、各種広報や対策を実施しているが、被害が多発しているため、「どのような対策や広報をすれば、被害が減少するか。」について、御意見をいただきたい。

(4) 委員の答申

ア 本日ここへ来る道中で、警察官を装った詐欺が流行っていると耳にした。

私だったら、警察官を名乗る人から電話が架かってきた場合、一旦電話を切って警察の電話番号を調べた上で、その番号が警察のものであれば架け直すといった方法をとると思う。

被害が増えていると言っていたことから、もう少し具体的な内容を広報してもいいのではないか。

イ 身近に感じる機会をどれだけ増やせるか。

発信する媒体や内容、回数を増やすしか方法がないと思う。

ウ 芸能人からのメールを装ったメールもくる。

様々な年代が詐欺被害に遭っているということなので、先ほどのナイトスクール等の機会積極的にうそ電話詐欺の広報を行った方がいいと思う。

学校には、警察官が直接行って広報する方が、効果的であると思う。

警察官を装った詐欺については、各地域行事等に積極的に参加してもらって地域住民に顔を覚えてもらっても良いのではないか。

5 速度取締りの指針について

(1) 内容

ア 事故実態等の分析結果と重点路線・時間帯の指定

イ 国民の理解と情報発信

(2) 志布志署の取組

当署は、当署独自の施策「ふるさとオペニオン&GIS作戦」を推進している。

過去3年間の交通事故実態の分析結果及び地域住民からの要望等を考慮して、国道220号、県道63号、そお街道の計3路線を速度取締り重点路線として指定したいと考えている。

(3) その他

本指針については、県警HPを通じて公表する。

(4) 委員の意見・要望

なし

備考